



2021年度通常枠

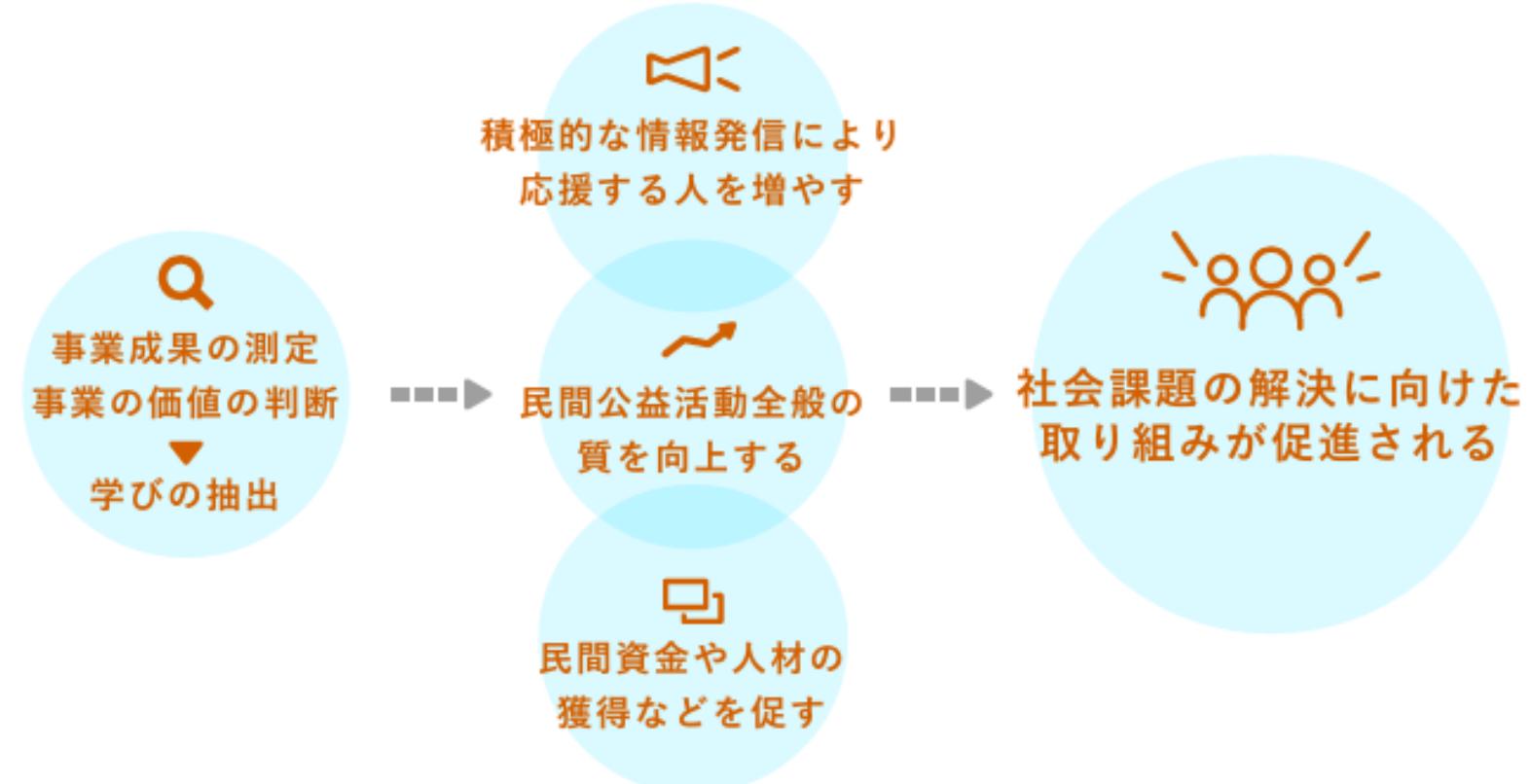
事後評価報告書作成と提出までのながれ



1. 事後評価の目的
2. 事後評価結果の報告と活用
3. 事後評価における点検と検証
4. 提出までのスケジュール

- 1. 事後評価の目的**
2. 事後評価結果の報告と活用
3. 事後評価における点検と検証
4. 提出までのスケジュール

事後評価の目的



ひとこと解説



評価実施体制、実施方法を含め、評価報告書は公開されます。評価結果が有効に活用されるためには正確かつ誠意ある情報開示、説明や報告を行うことが大切です。

1. 事後評価の目的
2. 事後評価結果の報告と活用
3. 事後評価における点検と検証
4. 提出までのスケジュール

評価結果は活用されることが大切です



評価結果活用の目的

1
説明責任
を果たす

2
学びを
改善に
つなげる

3
知識創造の
ための材料
にする

参照：「資金分配団体、実行団体に向けての評価指針 2024年度5月改訂版」

1 説明責任を果たす

JANPIAへの報告だけが目的ではありません。



**事業の対象者や多様な関係者、
協力者、関連・連携団体、同地域で類似活動を行う団体など**

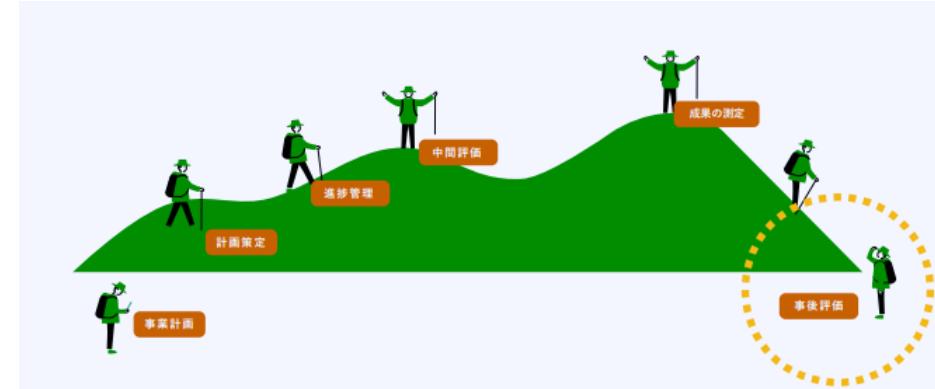
に評価結果を開示・説明し、得られた活動の改善内容や知見を共有することが重要です。

また、資金の活用の成果を積極的に情報発信することで、**広く国民の理解を得ること**が重要です。

参照：「資金分配団体、実行団体に向けての評価指針 2024年度5月改訂版」

2 学びを改善につなげる

事前評価結果は、事業実施前に事業計画を精緻化するために、
中間評価結果は、事業計画の改善に活用するために。



そして、事後評価結果は、次の事業計画や他団体の類似事業に活用することが期待されます。

また事業への活用だけでなく、組織単位で評価による知見や活動の改善内容が共有されることで自らも学習して進化する組織に成長するために有効に活用していくことができます。

参照：「資金分配団体、実行団体に向けての評価指針 2024年度5月改訂版」

3 知識の創造のための材料にする

収集・蓄積された情報は横断的かつ具体的に分析し、構造化された知識として整理し、分かりやすく、使いやすい形で広く提供・公表し、様々な場面で活用できるような知識環境を整備します。

収集した評価報告書

横断的かつ具体的な分析

- ・社会の諸課題の解決および仕組みづくりに結びつく成功事例の分析、課題の分析
- ・自立した担い手の育成状況
- など

国民の理解を得る

- ・社会の諸課題の解決にどう貢献しているか
- ・投入した資源は効率的に活用されたか

事業の資源配分に反映する

- ・実施中の事業の改善に役立てられているか

活動の質の向上や発展、民間資金や人材の獲得

- ・評価を有効活用しているか

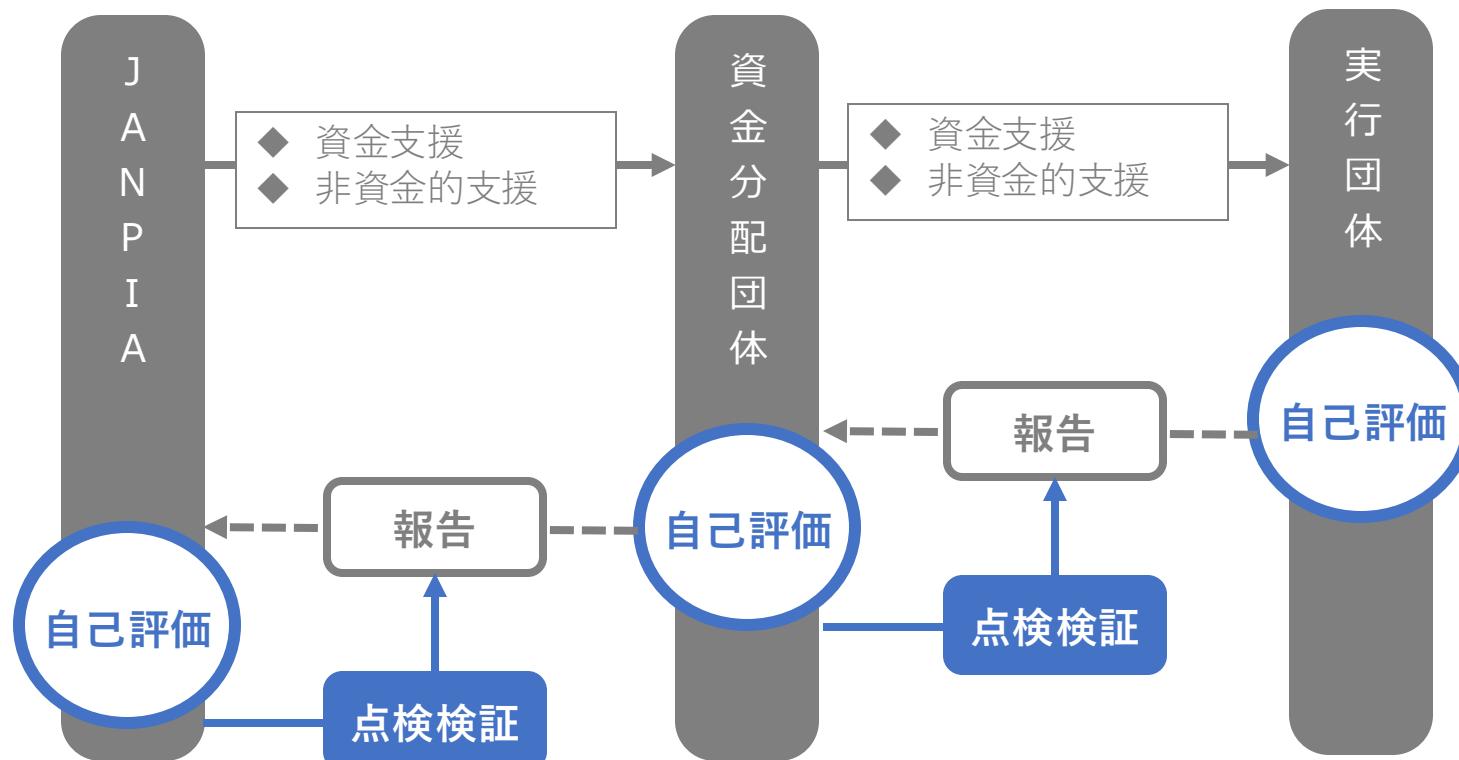
参照：「実行団体向け評価ハンドブック～事後評価編～2022年6月版」

- 1. 事後評価の目的**
- 2. 事後評価結果の報告と活用**
- 3. 事後評価における点検と検証**
- 4. 提出までのスケジュール**

休眠預金事業の評価の特徴

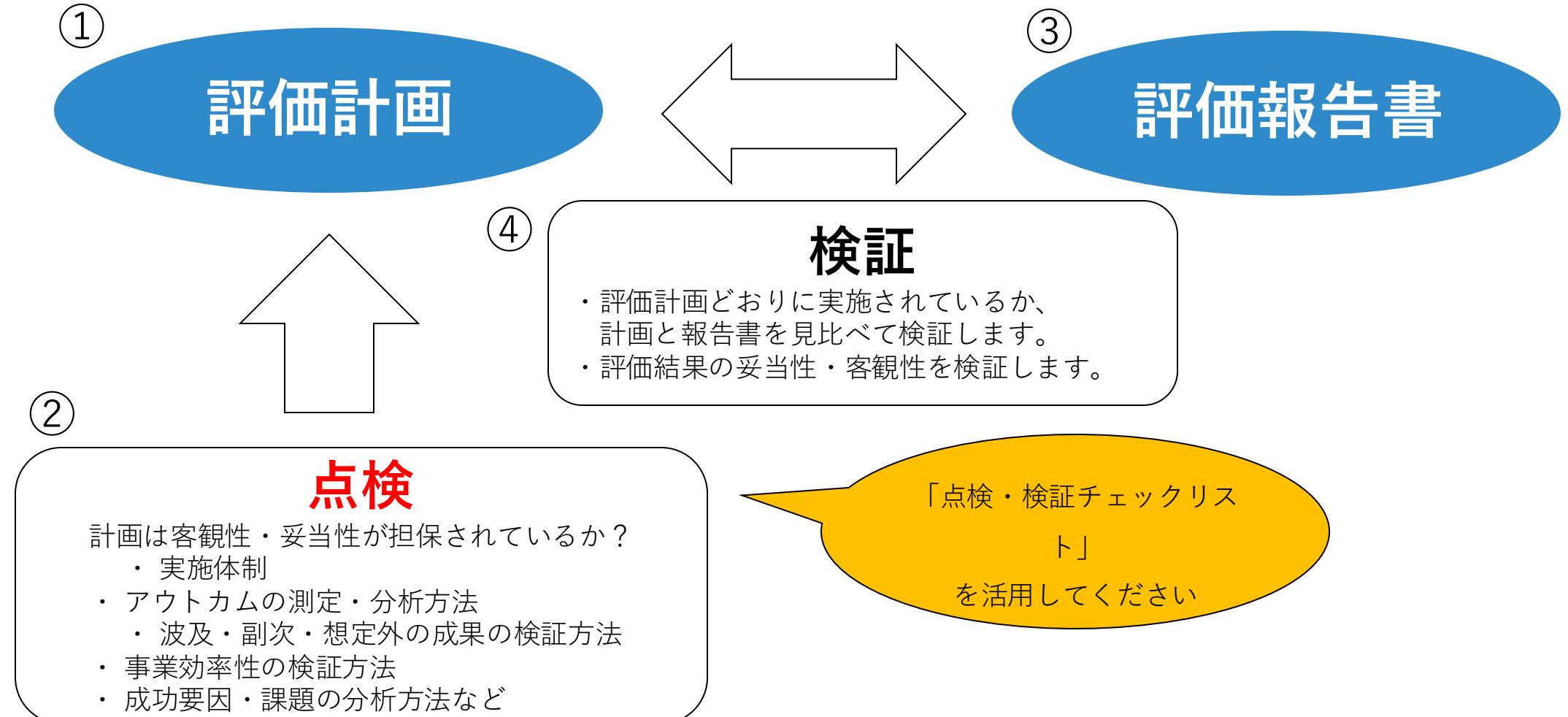
自己評価

→自己評価の客観性・妥当性を担保し、有効活用を促すために点検・検証を実施



①～④の順で、「点検」と「検証」を行います。

評価実施前に、評価計画の「点検」を行い、評価の質を事前に高めることを目指します。



【目的】

評価計画の客觀性・妥當性が担保されているかを確認します。

【実施時期】

事後評価計画の具体化を実施後、事後評価の実施開始前

【実施方法】

実行団体が、資金分配団体へ具体化した事後評価計画書を共有

資金分配団体が「点検・検証チェックリスト」に基づき点検を実施。

【検証結果の反映】

結果を実行団体にフィードバックし、協議の上、評価計画書に反映してください。

【目的】

評価計画の妥当性・客觀性が担保されているかを確認します。

【実施時期】

事後評価計画の具体化を実施後、事後評価の実施開始前

【実施方法】

資金分配団体が、JANPIAへ具体化した事後評価計画書を共有

JANPIAが「点検・検証チェックリスト」に基づき点検を実施。

※評価専門家との「点検レビュー会」を適宜開催いたします。

【検証結果の反映】

資金分配団体にフィードバックしますので、JANPIA担当POと協議の上、評価計画書に反映してください。

【目的】

評価報告書の妥当性・客観性を検証します。

「事後評価報告書に含める事項」が内容に含まれているかも確認します。

【実施時期】

事後評価報告書最終版を受け取る前

【実施方法】

実行団体が、資金分配団体へ事後評価報告書ドラフト版を共有
「点検・検証チェックリスト」に基づき検証を実施。

【検証結果の反映】

結果を実行団体にフィードバックし、協議の上、事後評価報告書に
反映してください。

【目的】

評価報告書の妥当性・客観性を検証します。

「事後評価報告書に含める事項」が内容に含まれているかも確認します。

【実施時期】

事後評価報告書最終版を受け取る前

【実施方法】

事後評価報告書ドラフト版（目次案または各項目の要旨がまとめたもの）を共有、適時JANPIAによる検証を実施

【検証結果の反映】

結果は資金分配団体にフィードバックしますので、JANPIA担当POと協議の上、事後評価報告書に反映してください。

点検・検証チェックリストの使い方



- 点検として事後評価計画時に、検証として事後評価報告書のドラフト提出時にそれぞれ確認を行います。
- 「主な視点」に基づいて確認をしたらチェックをします。確認の結果や判断基準、理由については右欄に記載します。

1	アウトカム測定計画は、事業の成果を適切に捉えられるものか	計画段階	実施後	検討メモ
主な視点	あらかじめ設定した短期アウトカムのほかに改めて追加する短期アウトカムはあるか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	あらかじめ設定した短期アウトカムのそれぞれの指標について、実際に測定が可能なものとなっているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	多面的な測定により事業の成果を捉えられているか（受益者の変化だけではなく、非資金的支援による実行団体自身の変化や関係団体との関係性、地域・環境の変化など）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	量的、質的データ（量的な変化、質的な変化の測定）を適切に組み合わせたデータ収集を行っているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	波及性や社会ニーズへの対応など、社会的成果を捉えようとしているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	効率性を検討する指標は検討されているか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	※（その他）他の視点を追加したい場合、自由に行を追加下さい。（以降についても同様）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2	価値判断基準は適切に設定されているか、その精度を高める取り組みはされているか	計画段階	実施後	検討メモ
主な視点	設定した目標値は根拠に基づいたものか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	短期アウトカムの価値判断基準は中長期アウトカムに繋がっているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

点検・検証チェックリストの構成



評価計画や評価報告の妥当性・客観性が担保されているかを確認するために、7つの項目を設定しています。

- 1 アウトカムの測定計画
予め設定したものでよい？実際に測定ができる？
- 2 価値判断基準の設定
目標値は根拠に基づいている？
- 3 要因分析の計画
アウトカム達成の要因分析のための検証方法は考えられている？
- 4 評価結果のまとめかた
収集するデータで十分な提言や知見・教訓が導き出せる？
- 5 評価関連経費のつかいかた
必要な調査にかかる費用などに有効活用できている？
- 6 評価の実施体制
複数の視点から多面的な情報を得られる体制になっている？
- 7 評価結果報告の活用
どのようにまとめて、いつ、誰に対して、何を、どのように伝える？

【書式】

自由書式

【ファイル形式】

自由（情報公開用はPDF）

【記載内容】

「事後評価報告書に含める事項」の内容
を含めること



社会的インパクト評価の結果が読み手にしっかり伝わるよう
必要な項目を立てています。

必ず参照し、事後評価報告書に含めてください。記載の順序
は資料の通りでなくとも構いません。

【通常枠資金分配団体用】

事後評価報告書に含める事項

※事後評価報告書は、自由書式です。ファイル形式や項目の記載順等は各団体でお決め頂いて構いません。ただし、社会的インパクト評価の結果が理解できるよう、内容には以下の事項を含めるようにしてください。

※公開対象とする報告書は、画像も含めて1つのPDFファイルにまとめてください。アップロードしたPDFファイルは一般公開されます。個人情報や秘匿情報が含まれていないことを必ず確認してください。

1. 表紙と目次

1-1 表紙

※表紙には下記の情報を含めてください。

- (1) 事業名
- (2) 資金分配団体名
- (3) 報告書提出年月

1-2 目次

2. 報告書要約

※1600字程度で事業成果に関する結論を中心に概要を記載してください。

3. 基本情報

この項目では、対象事業についての基本的な情報を記載してください。

【参考】2019,2020年度事業の事後評価報告書



休眠預金活用事業サイトで公開されています。

気になるワード

 休眠預金活用事業サイト

休眠預金活用事業サイトトップ > 事後評価報告

事後評価報告

事後評価報告の記事一覧

Home
総合評価
休眠預金活用とは
団体の活動
JANPIAの活動
業務改善活動
関係者インタビュー
活動スナップ
成果物・レポート
イベント・セミナー
メディア掲載
論文紹介


【事後評価】 食の物流ネットワーク整備プロジェクト | 全国食支援活動協力会 [20年度通常枠]
事業完了にあたり、成果の取りまとめるために実施されるのが「事後評価…
JANPIA 広報担当 | 12 views 2024/07/31 12:33


【事後評価】 コレクティヴィインパクトによる地域課題解決 | 社会変革推進財団 [20年度通常枠]
事業完了にあたり、成果の取りまとめるために実施されるのが「事後評価…
JANPIA 広報担当 | 9 views 2024/07/31 12:03


【事後評価】 中国5県休眠預金等活用コンソーシアム休眠預金活用事業 | 中国5県 休眠預金等活用コンソーシアム
事業完了にあたり、成果の取りまとめるために実施されるのが「事後評価…
JANPIA 広報担当 | 340 views 2023/09/15 15:28


【事後評価】 人口減少と社会包摂型コレクティヴィインパクト事業 | 佐賀未来創造基金 [19年度通常枠]
事業完了にあたり、成果の取りまとめるために実施されるのが「事後評価…
JANPIA 広報担当 | 258 views 2023/07/26 19:00

MOVIE LIBRARY

休眠預金活用事業サイト
MOVIE LIBRARY
動画ライブラリー
休眠預金活用事業に関連する動画をご紹介しています。
活動の様子が伝わる動画を、ぜひご覧ください!

ランキング

1 教えて！「休眠預金活用」っていったい何？ 事務局長に聞きました
休眠預金活用事業サイト 編集部
2023年度 活動支援団体が発表されました
JANPIA 広報担当
2023年度 活動支援団体が発表されました
3 地域の人たちの思いをTrial and errorで形に…
休眠預金活用事業サイト 編集部
4 2024年度 物価高騰及び子育て対応支援枠（随時・1次）資…
JANPIA 広報担当
4 2024年度 物価高騰及び子育て対応支援枠（随時・1次）資…
5 少年の更生に力を尽くす。社会復帰を支える就労支援で再犯のな…
休眠預金活用事業サイト 編集部

2019年度 休眠預金活用事業
事後評価 | 事後評価支援事業
安全・安心な地域社会づくり支援事業
事後評価報告書

2019年度 休眠預金活用事業
事後評価報告書

【事業名：こども食堂サポート機能設置事業】
事後評価報告書
【資金分配団体】全国食支援活動協力会

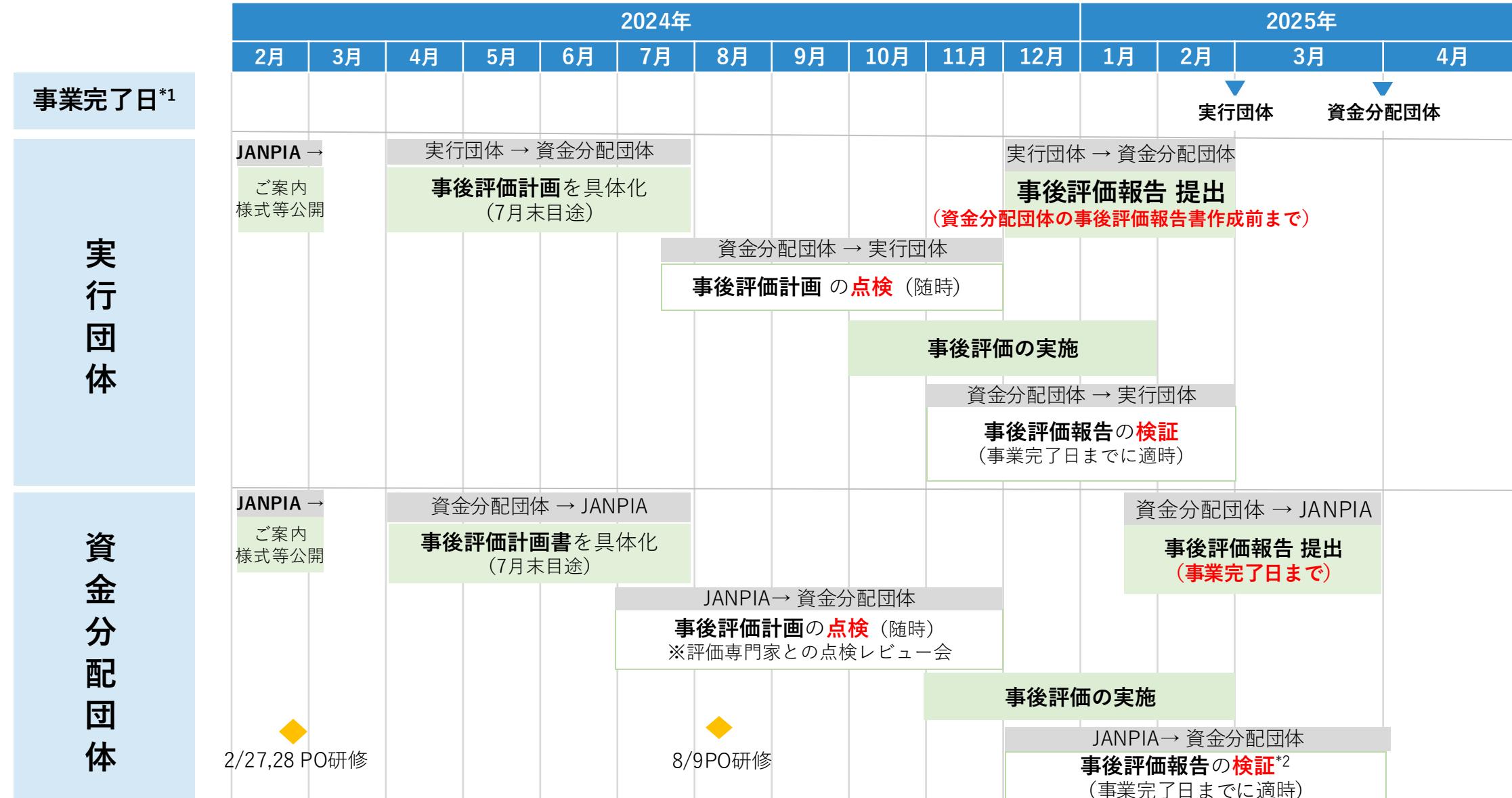
休眠預金活用事業事業 (地域ブロック)/2019~2022年度
NPOによる協働・連携構築事業
NPOによる協働・連携構築事業
2019年度事業「外国ルーツ少年未来創造事業」
資金分配団体 事後評価報告書

1. 基本情報
(1) 資金分配団体名：公益財団法人日本国際交流センター
(2) 資金分配団体事業名：外国ルーツ青少年未来創造事業-外国ルーツをもつ子供・若者の社会的包摂のための社会基盤作り
(3) 事業の概要：イベント企画支援事業
(4) 実施期間：2019年4月～2023年3月
(5) 事業対象地域：全国

2. 事業概要
「外国ルーツ青少年未来創造事業」(Supporting Youth of Diverse Roots and an Inclusive Society. 以下、SYDRISとします)は、学校教育や教育支援をもとにした外國ルーツ青少年が参加しているもの、教育システムの在り方やその他の課題に対する取り組みを通じて、教育や社会における多様な背景を持つ子供や若者の社会経済的な困難を抱えている外国ルーツ青少年に対する教育の機会や就労・キャリアにかかる支援をめらし、彼らのニーズに応じた社会基盤づくりを目指している。
日本に暮らす外国ルーツ青少年は、不平等率が高く、学校でできる限り支援の不十分なまま、高校進学率の低さ、中退率の高さ、並正規運用の多さといった課題が抱かれている。一方で、構造化された社会包摂体制の欠如が日本社会での外国ルーツ青少年に対する教育の機会や就労・キャリアにかかる支援をめらし、彼らのニーズに応じた社会基盤づくりを目指している。
日本に暮らす外国ルーツ青少年は、不平等率が高く、学校でできる限り支援の不十分なまま、高校進学率の低さ、中退率の高さ、並正規運用の多さといった課題が抱かれている。一方で、構造化された社会包摂体制の欠如が日本社会での外国ルーツ青少年に対する教育の機会や就労・キャリアにかかる支援をめらし、彼らのニーズに応じた社会基盤づくりを目指している。
以上の背景から、本事業では、教育・就労において困難を抱える外国ルーツ青少年が教育・就労・エンパワーメントなどにかかる包括的な支援を得て、

- 1. 事後評価の目的**
- 2. 事後評価結果の報告と活用**
- 3. 事後評価における点検と検証**
- 4. 提出までのスケジュール**

事後評価報告書作成と提出までのスケジュール



*1 上記の事業完了日を想定したスケジュールです。完了日が異なる場合や事後評価実施スケジュールが異なる場合、それに合わせてスケジュールが前後します。

*2事後評価報告書最終版受領前までに、事後評価報告書を適時JANPIAによる検証を実施します。

事後評価報告書の提出時の留意点



助成システム『事後評価報告』メニューに
ファイル添付をして登録



- JANPIA提出用のほか、**情報公開用としてPDF形式のファイルを作成してください。**
- 参考資料（調査結果や写真等）も公開したい場合は、**1つのファイルにまとめてください。**
- PDFファイルのファイル名に**【情報公開用】**と記載をしてください。

The screenshot shows the JANPIA system interface. At the top, there is a navigation menu with three main categories: 1. 団体情報 (Organization Information), 2. 事業採択 (Business Selection), and 3. 事業計画・報告・評価 (Business Plan, Report, Evaluation). The '事業計画・報告・評価' category is expanded, showing sub-options like '事業計画' (Business Plan), '公募結果報告/内定実行団体一覧' (Funding Application Results Report/Admission Implementation Organization List), and '事業完了報告' (Business Completion Report). A red box highlights the '事業完了報告' option. Below the menu, a large yellow box highlights the '事後評価報告' (Post-Evaluation Report) form. The form contains fields for basic information (Organization Type, Business Name, Organization Name, Implementation Organization, Business Name, Business Name), funding information (Funding Allocation Organization, Business Name, Organization Name), and reporting period (2020/11/27 ~ 2024/03/31). At the bottom of the form, there is a section for 'Post-Evaluation Report Document Type' with a note about uploading files. A red circle highlights this section. A dashed yellow line points from the '事業完了報告' menu option to this highlighted section on the form.

- 事業完了に向けて、事後評価報告書の他、経費精算報告、事業完了報告など複数の提出物がございます。**余裕をもったスケジューリング**で準備をお進めください。
- スケジュールはあくまで目安ですので、
皆さんの事業の進捗に合わせて、**前倒しで進めていただいて結構です。**
- ご不明な点や、スケジュール通りに進まない懸念がある場合は、
JANPIA担当プログラム・オフィサーに相談してください。